

◆ 【日本体育協会総合型地域スポーツクラブ公式メールマガジン】
◆ 第17号 平成19年2月20日発行

このメールは本会 HP より登録された方々へ配信させていただいております。
配信停止設定は、メール後方のご案内をご確認ください。

*****☆目次☆*****

- 【1】『巻頭言』 ～MYホームクラブのススメ～（高谷直輝）
- 【2】『わが街クラブの人気メニュー』（行政職員のかかわり方編）
～Goppo（ごっぽ）ええぞなクラブ（山口県）～
- 【3】『総合型クラブ設立・運営のリスクマネジメント（その13）』
クラブの事故責任と対応
- 【4】『指定クラブ訪問記』 銘苅小学校総合型地域スポーツクラブ
＜ゆいスポーツクラブ＞（沖縄県那覇市）
- 【5】『世界のスポーツ&クラブライフ』 デンマーク編
～語り合いのあるクラブライフ～
- 【6】『SCステーション』 新規16のQ&AをHPにアップしました！

【1】『巻頭言』 ～MYホームクラブのススメ～

■■■■■

■地元のクラブ（*）の一員として、たくさんの仲間と笑って楽しく過ごす日々を送っていた。アドバイザーを務めさせて頂くこととなり社会的使命を持った今でも、僕は、いち地域住民（個人）としての気持ちを忘れず、クラブより享受する恩恵に心から感謝している。現在は、クラブ（現場）とアドバイザーの『2足ワラジ』で活動している。

■クラブ未育成市町村への巡回。他地域の現状や関心の低さを次々と目の当たりにする。その度に僕は、「自分の街にクラブのある僕達って、ホント幸せだなあ♪」と感じる。

アドバイザーとしての経験が浅い僕は、知識や事例は多く持ち合わせていない。だが、自分のクラブでの実体験（現在進行形）があることで、素直な気持ちをリアルに伝えられ、現場視点に立って親身になって一緒に考えられる。

■アドバイザー活動にも苦難が多く、モチベーション維持が大変だという。
そんな時僕は自分のクラブに帰る。

クラブではいつもたくさんの笑顔に会える。まさしくホーム。クラブの子供たちは僕の事を「なおちー」と呼んで慕ってくる。大好きなバレーボールでも、「おい、なおちー！」と、子供・大人問わずガンガン希望（ボール）を僕に投げつけてくる。ぶつけられて『何か』を感じとる。痛えな、とか（笑）。

この『何か』は、決して『聞く・考える』ことでわかるのではなく、実体験をもって自らの五感で『感じる』。そうすることで第六感と意欲が出てくる。「クラブを楽しみ、幸せを感じている自分がある。これをもっと多くの人に！」単純だが、一切の曇りの無い純粋な思い。衝動。

■クラブづくりも、「まず自ら体験することで体現していける」のではないか。「百聞は一見、一体験に如かず！」。クラブづくりの第一歩に悩むなら一度クラブを体験し、クラブで皆とワイワイ遊んでみては。

（高谷直輝 青森県クラブ育成アドバイザー）

▽（*）「NPO 法人スポネット弘前」活動ブログはこちらから▽

http://blog.livedoor.jp/sponet_hirosaki/

【2】『わが街クラブの人気メニュー』（（行政職員のかかわり方編）

～Goppo（ごっぽ）ええぞなクラブ（山口県）～



◆『Goppo（ごっぽ）ええぞなクラブ』は、特定した母体もなく地域住民約10名が中心となり、平成18年3月に設立したクラブです。

悪戦苦闘しながらも目標に向かっていく姿を目の当たりに「行政として何ができるだろうか？」と思えば思うほどずっしり重く、時間が過ぎていくばかりでした。その時知人から「行政は、政策を策定しそれを具現化する施策を講じ、それを住民自らが主体的に取り組むよう方向付けするのが役割だよ。行政担当者として地域住民の一人として自分だったら何ができるのかまず考えてみたら？」と、言われたことで何だか肩の力も抜け、自主的に主体的に“まちづくり”に取り組もうとしている姿に直接触れることができるなんてラッキーなのではないか？と思い始めました。

（大上志麻 宇部市教育委員会体育課）

▼文章全文と写真はこちらから▼

<http://www.japan-sports.or.jp/local/news/newsDetail.asp?newsNo=83>

▽Goppo (ごっぽ) ええぞなクラブHPはこちらから▽

<http://goppoeezona.ddo.jp>

【3】『総合型クラブ設立・運営のリスクマネジメント(その13)』

クラブの事故責任と対応

■Q；クラブとして事故や怪我の責任はどこまで負うのでしょうか？

A；スポーツ指導中に事故や怪我が起こった場合、クラブもその責任を負わなければなりません。スポーツ器具・用品等の欠陥が原因で事故や怪我が起こった場合は、製造物責任法（PL法）により製造元に責任を追及することができます。

（行政書士 谷塚 哲）

▼文章全文はこちらから▼

<http://www.japan-sports.or.jp/local/news/newsDetail.asp?newsNo=84>

【4】『指定クラブ訪問記』 銘苅小学校総合型地域スポーツクラブ

<ゆいスポーツクラブ> （沖縄県那覇市）



◆銘苅小学校には「地域連携室」というユニークな空間がある。この一室は学校と地域を結ぶ大切な場所である。ここでは自治会の集会所として活用されるだけでなく、地域企業の会議も開かれるそうである。また、学校は、常に地域に開放されている。施設利用手続きの簡素化・低料金化が図られ、放課後の施設管理を「ゆいスポーツクラブ」のスタッフが担っており、安全で、いつでも・誰でも利用できる学校施設は地域の大きな魅力となり、財産になっている。

（報告：仲里 健 沖縄県クラブ育成アドバイザー）

▼文章全文と写真はここから▼

<http://www.japan-sports.or.jp/local/news/newsDetail.asp?newsNo=85>

【5】『世界のスポーツ&クラブライフ』デンマーク編

～語り合いのあるクラブライフ～



■人々は11月から3月までの冬の間、おおよそ午後4時から翌朝の8時過ぎまで太陽が沈んだ中で過ごさなければならず、一方、夏になれば午後9時を

回っても明るいという「自然条件」ゆえに、スポーツクラブが身近に感じられるでしょう。

しかし、より重要なことは、人々が身の回りのことをお互いに静かに語り合う、すなわち対話することの大切さを自覚していることだと思います。デンマーク語には温かさと優しさ、心地よさを表す「ヒューゲ hygge」があります。お互いを尊重しあい、リラックスした中で語り合うことをこう表現するのです。

(清水 諭 筑波大学大学院人間総合科学研究科助教授)

▼文章全文と写真はこちらから▼

<http://www.japan-sports.or.jp/local/news/newsDetail.asp?newsNo=86>

【6】『SCステーション』新規16のQ&AをHPにアップしました！

総合型クラブづくり・育成の、疑問や悩みの解決ヒント満載！

クラブ育成アドバイザーや講習会等でのご意見・提案をもとに、重複を整理して、16個の「Q&A」が新しく追加されました。

ぜひご覧下さい！

▽「SCステーション」HPはこちらから▽

<http://www.japan-sports.or.jp/local/sc/index.html>

◆1. クラブのつくり方

Q27 公民館活動と連携のある総合型クラブはありますか？

Q28 自立に向けて、設立前までに何をしておけば効果的ですか？

Q29 過疎地で総合型クラブはつくれますか？

◆2. 組織と運営

Q20 スポーツ指導を行っているクラブとして、注意すべき事項について教えてください。

Q21 クラブの組織や運営体制をうまくつくりたいのですが。

Q22 多くの住民を巻き込み、会員を増やすには？

◆3. 人材と育成

Q8 新しい種目の指導者は、どのように探せばいいでしょうか？

Q9 クラブマネジャーはなぜ必要ですか。育てることはできますか？

Q10 若い人が参画しやすいクラブとは？

Q11 若い人材にスタッフになってほしいのですが。

Q12 パート・アルバイトなどスタッフの募集方法を教えてください。

◆6. 広報とPR

Q8 学校でパンフレットやチラシを配りたいのですが。

◆9. プログラムとイベント

Q19 働き盛りの男性が足を運ぶようになる魅力的なプログラムは？

Q20 同じ人ばかりの参加やプログラムのマンネリ化を防ぐには？

◆ 10. 事務局の仕事

Q5 クラブハウスがまだなく、入会受付などはどうすればいいですか？

Q6 クラブ関係者への簡単な連絡方法はありませんか？



☆☆☆ メール配信サービスのご案内 ☆☆☆



◆メールマガジン配信停止(退会)ご希望の方は、こちらから◆

<http://www.japan-sports.or.jp/local/mail/>

※お客様のメールアドレスが変更になる場合は、上記ページで一度退会処理をされた後、再度登録手続きを行ってください。

◆当メールは送信専用で配信されており返信できません◆

Copyright (c) 2006 Japan Sports Association. All rights reserved